第１回　学校運営協議会（兼コンプライアンス委員会）　議事録

１　日　時　令和７年４月 16 日（水）

２　場　所　御殿場特別支援学校　会議室

３　出席者　学校運営協議会委員

前小山教育長(CO)	高橋　正彦　様
トヨタ自動車(株)東富士研究所管理部	細井　敏光　様
時之栖　社長室	加藤　弘一朗　様
御殿場市企画戦略部未来戦略監兼未来プロジェクト課長	勝又　喜英　様
(福)御殿場市社会福祉協議会　常務理事事務局長	鎌野　晃　様
富士見原区　福祉支部長	小山内　君子　様
本校ＰＴＡ役員（会長補佐）	伊藤　偉厚　様

本校校長、副校長、教頭、事務長、各学部主事、教務課長、連携課長

計 16 名

４　議事録

(1) 校長挨拶

今年度は、学校と地域がよりつながることができる学校づくりに取り組んでいく。

(2) 自己紹介（略）

(3) 校内参観

(4) 学校経営計画について（校長）　※別紙

学校教育目標は３年目、合言葉は開校以来のものとなっている。児童生徒はこの地域で学び、地域で育ち、将来は自分らしく生きていける人になってほしい。「ふじはぐプロジェクト」に示すように、これまでの取組をさらに推進していきたい。例えば、おもちゃ美術館や木育プロジェクトに本校の木工関係で協力できないかなど、地域との関係を広げ、地域文化とつなげていければ良いと考えている。児童生徒の今持つ力を伸ばすだけでなく、自分らしくたくましくなって地域に巣立ってほしい。また、学校経営計画については、具現化の柱を立て、人権を尊重し命を守る教育をしていく。年度末初めに多くの教職員の転出入があり、新しいチーム作りを行いながら教員の専門性の向上を図り、キャリア発達への支援や学びの充実を目指していく。地域における共生共育、児童生徒の将来の社会参加に向けて、委員に協力いただきたい。グランドデザインは豊かな自然の中で、地域に支えられている様子を表すよう工夫している。

〇協議・質疑

委員：個々に合わせた教育がされており、生徒主体の学びに感心した。昨年と比べ児童生徒が緊張せずに接してくれ、人間味のあふれる教育の成果と感じた。

委員：人数が多くて驚いたが、個々に合わせた指導がされている。これから何ができるかを考えていきたい。

委員：教員が変わっても子どもたちとの信頼関係ができている。社会福祉協議会も卒業生をさらに受け入れたいが、キャパシティーが追い付かないところがある。

委員：畑など「外の体験」が大事に感じた。市役所でも製品づくりに協力していていきたい。来年度、木育を象徴する施設となる木のおもちゃ美術館がオープンす

る。展示や販売等での絡みができるか、オープン前の見学会に来てもらうことなども考えたい。また、「ごてんばっ木」とのコラボもしてほしい。

校長：（外の体験については）校外学習や小中との学校間交流、清掃での地域との交流をしている。畑は校内での活動だが、校外に畑を借りることも考えたい。他にも、外部の方に来校いただき、だしやお茶の学習なども行っている。

委員：外部の人に怖がらずに、握手や手を振ってくれる明るさがあった。高等部生徒の作業説明は自負と責任が感じられ、製品も繊細で素敵だった。紙ひもの製品は大小のバックを作ると、春先や夏に使い勝手が良さそう。中学部は休み時間だったので生徒から挨拶をしてくれて、今年度の交流に向け、明るい生徒たちで良かった。

委員：改めて、この協議会の目的や目標、ゴール、これからどのように協議をしていくのかを聞きたい。

副校長：学校からの一方通行ではなく、学校を良くし、児童生徒の成長につなげていくために委員にも参画いただきたい。また、学校の経営計画や取組に関し意見をいただき、一緒になってやっていきたい。協議会は年４回計画しているが、最終的には経営計画の目標が達成できたかというところも評価をいただく。

委員：「守る」について、ヘルメットが壁に掛けてある教室とロッカーにある教室があった。すぐ手に取ることを考えると机の横に掛けるべきかもしれないが、机を動かすこともあるので壁やロッカーにあることも分かる。統一できると良い。保存食のかばんを床に置いている教室があり、棚に置いた方が取りやすく教室が広く使えると思った。「育む」については、中学部であれば縦のつながりがあると良く、例えば体育祭がそれにつながると思う。また、よく動ける子たちを集めて活動するなど、レベルに合わせてやることを考えても良い。

校長：ヘルメットは、ＵＤの観点からも大事なことなので相談しながら進めていきたい。グループに関しては、作業等は子どもたちが選択している。協議会については、具現化の柱の具体内容を検討する場でもあるので学び合って進めたい。

司会：「こうしたらどうか」と提案をいただくのが、協議会の役割である。学校が地域へ、地域が学校へと、お互いに意味がある。

【学校経営計画についての承認】

(5) コンプライアンス委員会　※別紙

教頭：不祥事根絶研修を「ポジティムタイム」と呼び、月のテーマを設定して、年間を通じ実施していく。不祥事を未然に防ぐための法令等を学ぶだけでなく、小グループでの話し合いを通じて風通しの良い職場環境づくりを進めていく。特に８月には、プロの芸人から人との関係づくりやコミュニケーションのコツについて学ぶ機会を予定している。

【コンプライアンスに係る取組の承認】

（終了）